

2021年度環境報告

2021年度 当社における 環境マネジメントシステム活動について、簡略ながら報告致します。

1. 外部審査結果

外部審査機関による 再認証審査 (JIS Q14001:2015) を11月8日掛川工場・9日白岡工場で受講し、不適となる事項はありませんでした。

2. 環境目標の達成度

運用実績は以下の通りです。

① 電力

目 標：2020年度使用効率を基準とし2021年末までに1%向上する

結 果：電力使用効率は、工場の空調設備を環境対応製品に変更した結果、14.67%向上し電気総使用量は8,885kwhで2.93%減少し目標を達成しました。

② ガソリン

目 標：2020年度燃費を基準として2021年末までに1%向上する

結 果：営業車の燃費は、コロナ禍で遠方への営業活動が出来なかった事で、目標に対しては0.39%達成できませんでした。前年に対しては0.59%向上しました。

③ プロパンガス・都市ガス

目 標：2020年使用量を基準として2021年末までこれを維持する

結 果：プロパンガス・都市ガス総使用量は、効率的な使用を継続により、15.96%削減し目標を達成しました。

④ 一般廃棄物

目 標：2020年度排出量を基準として2021年度末までに1%削減する

結 果：一般廃棄物総排出量は、分別廃棄の徹底を継続したことにより、13.96%削減し、目標を達成しました。

⑤ 廃プラスチック

目 標：2020年度排出量を基準として2021年度末までに1%削減する

結 果：廃プラスチック排出量は、分別廃棄の徹底とリサイクルとしての売却を継続しましたが、6.34%増加し目標達成できませんでした。

要因は、化成品の生産が増加したことによるものです。

⑥ 古紙排出率

目 標：2020年度排出率を基準として2021年度中に0.2%削減する

結 果：古紙排出率は、余枚管理の徹底と工程ロスの削減により1.67%削減し、目標を達成しました。

⑦ 設計開発

目 標：2021年度末までに環境に配慮した改善提案を200件行う

結 果：環境に配慮した改善提案は、87件で提案され目標達成できませんでした。

3. 法規制及びその他の要求事項の遵守状況

特に問題ありません。

4. 利害関係者からの情報又は、社会環境の変化

新型コロナウイルスに対する感染防止対策が求められています。

苦情等はありませんでした。

5. 新たに生じた著しい環境側面の変化

発生しておりません。

6. その他の諸事項

活動は問題なく推進しております。

7. 総括

新型コロナウイルス感染拡大で行動が制限され、厳しい環境下でしたが、Web ミーティングシステムを活用し、営業活動、在宅勤務、社内会議などを積極的に取り組みました。

また、工程ロスの削減等生産性向上に取り組んだ結果、エネルギー効率の向上につながりました。

来年度は、更なる工夫と改善を推進します。